

2025年12月17日

認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会

報道関係者各位

【年末年始は「年賀状と不要品」で「子どもワクチン支援」】

余ったり、書き損じや印刷ミスで使えなくなった年賀状、年末の大掃除で出た不要品が、子ども達の命を救います

今年も12月15日（月）から、年賀状の受付が開始されました。しかし、余ったり、書き損じや印刷ミスで送ることができず、ご自宅やオフィスで眠ったままになってしまうハガキもあるのではないかでしょうか。また、年末の大掃除では、不要品を整理して、そのまま捨ててしまっている方も多いいらっしゃるかと思います。

「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」（東京都、以下 JCV）では、子どもたちのちいさな命を感染症から守るために、使わなくなった年賀状を他のハガキや未使用・使用済み切手と共に回収。さらに、支援企業のご協力で不要品も回収し、ポリオ（小児マヒ）、はしか、破傷風などのワクチンに換え、途上国の子ども達に届けています。

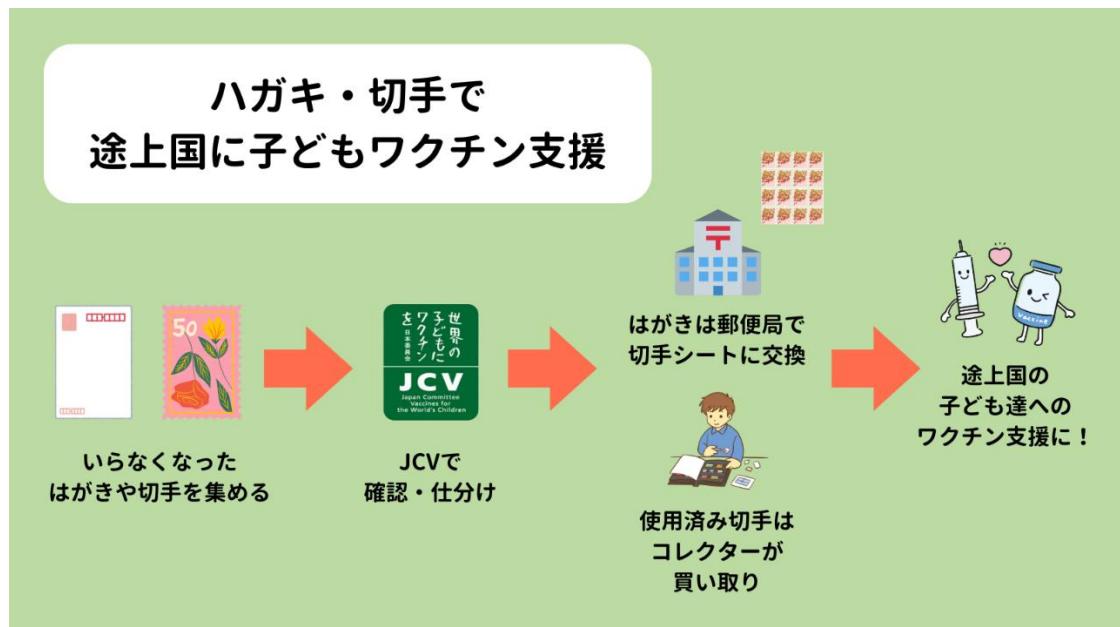
ワクチンが無いために感染症で亡くなる、1日約4,000人の子ども達のちいさな命を救うため、皆さまのご協力をお願ひいたします。



【ハガキ・切手で子どもワクチン支援】

使う機会がなくなってしまったり、額面が古くなってしまったりして、ご不要になったハガキや切手、書き損じやプリントミスをしてしまったハガキを活かして、途上国の子ども達の命を救えるのが、JCV が行う「はがき・切手回収による子どもワクチン支援」です。

年賀状などのハガキは、JCV に届くと郵便局や指定の買取事業者で切手シートに交換されます。85 円の年賀状であれば、交換手数料を除いた約 60 円が寄付となりますので、10 枚お送りいただくと、約 30 人の子ども達にポリオワクチンを贈ることができます。



また、消印が残るように切り取られた「使用済み切手」も子どもワクチン支援につながります。1kg 約 1500 円でコレクターの方に買い取られた売却益が、ご寄付となります。

[詳細はこちら](#)

【年末の大掃除で出た不要品でも子どもワクチン支援】

ハガキや切手以外にも、年末の大掃除では様々な不要品が出てくると思います。「自分にはもう必要ないけれど、何かに役立てられないかな。」、「処分にお金をかけるのはもったいないな。」と感じる方もいらっしゃるかと思います。そんな不要品も、JCV と提携する支援企業（買取事業者）を通して、子どもワクチン支援に活かすことができます。

その 1 つが、ブックオフが運営する宅配買取寄付サービス「キモチと。」です。対象は本や DVD、ゲームなど 30 品目以上に及びます。段ボールなどに梱包した後、専用ページからお申し込みいただくと、宅配事業者が無料回収。買取金額の全額がブックオフを通して JCV に寄付されます。さらに、寄付月間の 12 月中は、10 点以上の品物を送ると **500 円が上乗せ**（ブックオフ協力分）されて寄付されるキャンペーンが実施されています。

大掃除の際に出てきた不要品を何かに生かしたいという方は、ぜひお申し込みください。

[お申し込み・詳細はこちら](#)



【支援国バヌアツのお母さんからのメッセージ】

昨年、JCVは支援国のひとつバヌアツの現地視察を実施。その際に訪問した、レレパ島に住む子どものお母さんから、日本の皆さんへメッセージをいただきました。

「私たちの住む島には病院もなく、未だに電気も通っていません。そんな環境で子どもが感染症にかかりれば一大事です。だから、娘がワクチンを接種できる日をいつも心待ちにしています。日本で継続してワクチン支援活動にご協力くださっている皆さま、本当にありがとうございます。おかげで、娘はこれまで健康に育ってくれています。」



【1日 4,000人の子どもたちが予防可能な感染症で亡くなる現実とワクチンの必要性】

ポリオ、結核、百日咳などの感染症は、途上国においては日常の脅威として、日々、多くの子どもたちの命と笑顔を奪い続けています。その数は1日4,000人。20秒に1人の子どもたちがワクチンの接種をすれば防げるはずの病気で亡くなっています。

私たち、「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」(JCV)は、途上国の子どもたちにワクチンを届け、彼らの命と未来を守る活動「子どもワクチン支援」を行う民間の国際支援団体です。感染症のワクチンの多くは1人分20円、高いものでも約280円ととても安価です。私たちはUNICEFや各国の保健省と協力し、1994年の創設以来、1億3,377万3,465人の子どもたちにワクチンを届けてまいりました。

皆さまのご支援により、2025年は、ミャンマー、ラオス、ブータン、バヌアツの4カ国に約1億1,775万円分のワクチンやコールドチェーン機器を贈ることができました。



【団体概要】

- 団体名：認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会
- 代表：理事長 競持 瞳子（ケンモチ ムツコ）
- 創設者：会長 細川 佳代子（ホソカワ カヨコ、細川護熙元首相夫人）
- 本社所在地：東京都港区三田4-1-9 三田ヒルサイドビル8F
- URL：www.jcv-jp.org
- 設立：1994年1月29日
竹下景子（ワクチン大使・女優）、和田毅（元プロ野球選手）、早見優（歌手・女優）、三國清三（シェフ・株式会社ソシエテミクニ 代表取締役）、進藤奈邦子（WHO 健康危機管理プログラムシニアアドバイザー）、鏡リュウジ（翻訳家・心理占星術研究家）、安藤優子（ジャーナリスト）、キャップ革命 ボトルマン（株式会社タカラトミー）

<お問い合わせ先>

認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会

広報・啓発・教育グループ 乙津

TEL：080-3094-8232／E-mail：otsu@jcv-jp.org